

わっしょい百万で優秀賞 今年もユニーク体操で狙います



ユニーク体操とは、モダンバレエなどの伝統的な要素とリズム体操などの新しい要素を取り入れた、文字どおりユニークな振り付けの体操です。大任町公民館を主な活動場所として、現在16人のメンバーで頑張っています。

このユニーク体操が昨年8月4日、北九州市の百万踊りコンテスト創作の部で優秀賞を獲得。以前にもグランプリを2度、優秀賞を1度獲得していて通算4度目の受賞となります。

指導者の菅深雪先生は「一生懸命汗をかいて練習した結果をこのような形で残せたのは励みになります。もちろん、今年も参加に向けて猛練習中です」と意気込みを語ってくれました。

下手でいい、下手が面白い

これが絵てがみの魅力です

「美しく描くのではなく、おもしろく描く。絵心なんか無くても味のある絵が描けるところが絵てがみの魅力なんですよ」と語るの、講師を務める崎山恵子さん。

絵てがみ教室は、町の公民館講座からスタートし、今年で13年目を迎えました。現在、会員15名。毎月第1、第3月曜日の10時から12時まで、大任町公民館の一室で『下手でいい、下手が面白い』のキャッチフレーズの下、会員一同絵筆を振るっています。興味のある方は、ぜひ一度遊びに来てください。



詩吟独特の節回し「節調」に 個性をのせて吟じています



「詩吟独特の節回しを『節調』というんですが、この節調に個性が強くなるので、例え同じ詩を吟じて同じにはならない。これに琴や尺八の音色が加わると、また別の良さが出てくるので奥が深くておもしろい」と詩吟の魅力を語ってくれたのは、詩吟歴4年目となる佐藤信正さん。ほかにも詩を吟じることで内容をより深く理解できるようになったこと、人前で声を披露する楽しみなどについてもお話してくれました。

詩吟は公民館講座として、毎週木曜日の13時30分から15時30分まで、大任町公民館で開催しています。会員募集中ですので興味のある方は大任町公民館（TEL63-2242）までご連絡ください。